

令和5年度 専門領域推進部小児理学療法領域勉強会 活動報告書

日 時：令和5年9月21日(木) 18時30分～19時30分

形 式：Zoomによるオンライン開催

内 容：『重症心身障がい児へのかかわり 基礎編』

講 師 山田 うた理 先生（山形県立こども医療療育センター 理学療法士）

参加人数：36名

近年、小児を対象とする施設や事業所が増え、同時に関わるセラピストも必要となっており、小児領域のリハビリへの多様なニーズの高まりを肌で感じております。この度も県内全域より36名の方々にご参加いただき、令和5年度の勉強会を開催することが出来ました。

今年度は『重症心身障がい児へのかかわり 基礎編』と題して、こども医療療育センター理学療法士の山田うた理先生より、重症心身障がい児と関わる上で基礎となる知識、また姿勢保持装置等の補装具も含めて、実際のケース紹介を交えてお話いただきました。講義に加えて、限りある時間ではありましたが、参加して頂いた先生方より、実際に臨床で小児に関わる中での疑問やご相談を頂き、症例に対しての環境設定の提案や今後のアプローチの方向性の共有など、意見交換の場となったと考えております。

前述したように、小児領域のリハビリを受けられる場所や機会は、確実に拡大しており、加えて、在宅で過ごす医療的ケアが必要な重症心身障がい児が増え、関わるセラピストの中には、リスク管理や予後予測など今まで経験のない不安を抱いている方も少なくないと思います。

成人に比べ、勉強会や講習会も少なく、それゆえに、相談できる機会や不安を解消する知識を得ることも限られているのも現状ではないでしょうか。今後も、本勉強会が小児領域に関わるセラピストにとって、それらの課題を解決する糸口になるように、知識や経験の提供と同時に、セラピスト同士の繋がりを作りながら、関わる小児にとって有益なものとなるよう進めていきたいと考えております。

今後も多くの方々のご参加をお待ちしております。

文責：小平 誠（こども医療療育センター）